

# ろうさん彩登

サイ ト

埼玉県勤労者山岳連盟

機関紙：発行責任者 武笠真次  
編集 小松勝浩

〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階  
TEL・FAX 048-838-0640

<http://www.tozans-justhpbs.jp/>

16号目次

P1：県連の動き

P4：通信加盟会 新座山の会

P5：通信加盟会 飯能勤労者山岳会

P6：登山学校【山の救急法】

P7：登山学校【地図の読み方】

P8：岩ネット参加報告



## 県連の動き

### 委員会活動報告

## 海外集会・安全講演会開催予定

○海外集会について

11月30日9:00受付 (9:30～11:30)

場所：与野本町コミセン第1・第2会議室

○安全講演会について

11月30日1300受付 (13:30～16:30)

場所：与野本町コミセン多目的ルーム

## 山のフォトwebコンテスト開催決定

### 全国連盟活動

新特別基金運営員会 8月26日 (火)

交付申請・審議⇒承認：日和田アルパ インクラブ 奥武蔵 黒山聖人岩 54歳男性 (10口) 傷病名：耳介裂傷、頭部挫傷、全身打撲、頭部打撲傷

### 県連全体活動

○海外集会について

11月30日9:00受付 (9:30～11:30)

場所：与野本町コミュニティセンター第1・第2会議室

○安全講演会について

11月30日1300受付 (13:30～16:30)

場所：与野本町コミュニティセンター多目的ルーム (大)

### 財政

・連盟費納入状況について 5会未納有り

### ハイキング

ハイキング委員会：パルコ9/4予定pm6:00-7:30浦和コミセン9F

\*全国ハイキング委員会

・全国交流集会in岐阜 9/27-28 軽ハイキングあり 会費8000  
現地集合本部へ申込み

来年1月の講習会の講師・場所検討中

**委員会活動報告****ホームページ**

機関紙電子版8月13日15号発行、8月13日浦和くまざさ山岳会紹介ページ更新、8月13日 2014年7月ハイキング委員会交流ハイク参加報告掲載  
8月26日 ろうさん彩登12号記事一部訂正  
ホームページ上で山のフォトコンテストを開催予定  
実施要項を後日掲載します。

**自然保護**

\*石巻支援は9月27.28日予定でしたが参加者が27名に満たないため予算内での活動が困難な状況で中止になりました。今後の活動方法をバス代の高騰、高速料金等を踏まえて再検討いたします。

**登山学校**

9/6-7 第4回講座「地図の読み方」机上講座28名・運営委員14名 カルタスホール、実技講座25名・運営委員13名：高水三山  
次回運営委員会9/29

**救助隊**

・9/8第4回役員会 セルフレスキュー講習会 机上10/18高鼻コミセン実技10/19  
場所未定  
・10/20岩搬出訓練机上学習：浦和コミセン 実技訓練11/9場所未定

**岩ネット**

8/16 日和田山ゲレンデ7名参加 会・クラブ：所ハイ4名、わらび1名、山なみ1名、椽1名、彩山友会1名 次回9月20日（土）

**沢登りネットワーク**

8/31：奥秩父東沢の中流部変更予定 7/9 19:30パルム9F机上  
9/13～15：越後サナシ川（前夜発） 10/11～12：上信越（ガラン谷）  
9月説明会9/3に変更予定

**海外**

海外集会について 11月30日9:00受付（9:30～11:30）  
場所：与野本町コミュニティセンター第1・第2会議室（8/8申込み、8/20支払い済）どんな集会にするか検討⇒海外登山経験者の発表の場とする。

**機関紙**

機関紙電子版8月13日 15号発行、機関紙ダイジェスト版発行  
次回月 9/10日（第2水曜日）原稿投稿は早めに

**組 織**

2014年度三役名簿作成中、2014年度理事役員名簿作成中

**女 性**

9月or10月に救助隊の援助でビバーク体験を企画

・委員会 7/7日開催 5名出席

・6/27～28 女性担当者会議（国立オリンピック記念青少年総合センター）参加者 6名

**ブロック活動報告**西部＝ブロック会議：千葉B長（飯能）会議9/11クリーンハイク交流ハイク打合せ  
11/16本番（小川町和紙センター）

南部＝ブロック会議：伊藤正B長（わらび） 会議8/21・10/26交流バスハイク

中部＝ブロック会議：岡野B長（大宮）会議7/ クリーンハイクの見直し検討、  
雪山山行参加者減少で見直し

北部＝ブロック会議：石川B長（熊ト）会議未定

9/6 熊谷中央公民館 山筋ゴーゴー体操講習会開催35名申込有

**山のフォトwebコンテスト開催決定**

## ・☆☆ 応募方法 ☆☆

## 1. 対象作品

「山の風景・動物・植物・人」をテーマとした写真

## 2. 参加条件

埼玉県勤労者山岳連盟所属加盟会会員に限定・1人1点までとします。3. 作品規格：1作品あたり4MB以内のjpgファイルで画像データ作品に限定カラー・モノクロはどちらでも可、プリントでの応募は不可

## 4. 提出方法

ホームページの応募受付ボタンからメーラーを起動して、メールに下記事項を記入し作品ファイルを添付して送信ください。1. 所属会 2. a.氏名・b.年齢

・c.電話番号・d.メールアドレス 3. 撮影月日

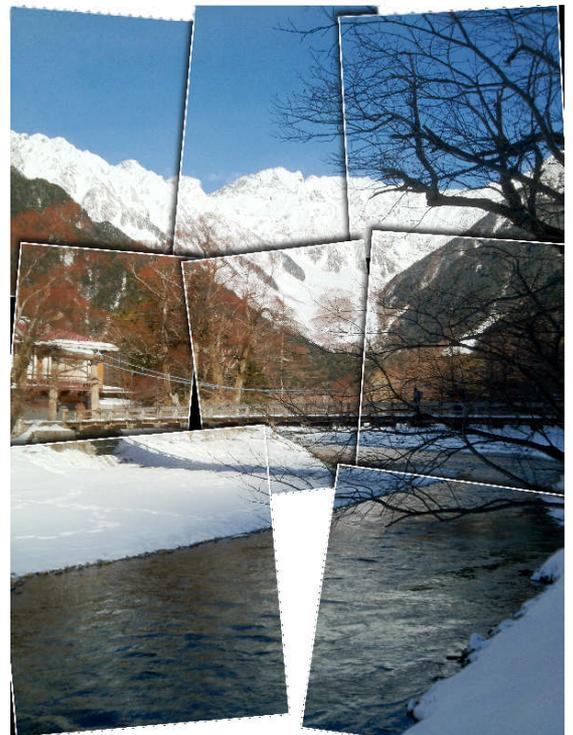
4. 撮影場所 5. その他 何か説明が有る場合 ※  
1～4が無記入の場合無効

5. 受付期間 審査期間についてはホームページ上にて9月中旬に発表します。

## ☆☆ 応募上の留意事項 ☆☆

1. 応募作品は未発表のもので、単写真に限ります。

2. 応募作品に人物が含まれる場合、主催者は肖像権侵害等の責任は負いません。第三者からの権利侵害等の苦情については、すべて応募者の責任とします。応募に際しては、被写体本人の承諾を得てください。被写体が未成年の場合は、親権者の承諾を得てください。





## 新座山の会

# 第19回 旧足尾銅山植樹祭 荒神山へ

期日 2014年4月27日（日）参加者7名

爽やかな空気の中を、ふじみ野からバス2台で出発しました。新座山の会は、KさんとMさんがバスの前列に座り、役員として運営して頂きました。

Kさんから、足尾銅山は1610年に銅が発見され、採掘した物を精錬するときに出た亜硫酸ガスでやられてしまった、などの歴史の説明がありました。道路もスムーズに進み、開会式会場には予定通り着くことが出来ました。開会式では本日は800名で2日間で1600名の参加であること。大人が多い中、小中高生などの子供達の参加があり、この企画が将来に繋がると思うので大変喜ばしいとのお話がありました。最後に軽い準備体操をして終了しました。いよいよ植樹地へ移動です。登り口で木の入った袋とシャベルが渡されて、しっかり付いている階段を1000段近く、ぞろぞろ登って行きました。土止めがしてあり、平らになっている所が植樹の場所でした。間隔を空けて一列に並び、シャベルで掘ってみると、数日前の雨のせいか、湿っぽい土が出てきました。「これなら根づいてくれるでしょうね。」「枯れないでね。」など、話しながら植えました。山を掘るのだから大変だと思いましたが意外に楽でした。それには理由がありました。よく根づくようにとわざわざ黒土を運び入れたという事です。私達が植えるまでに、階段、手すり、黒土運びと、どれだけの人達の力を借りたのだろう、ご苦労を思わずにはられませんでした。今年で19回目の植樹ですから、道を隔てた山々には、成長して芽ぶきが始まっている様子が見られ、確実に緑が戻りつつあることが、わかりました。30分ほどで植樹は終わり、下山して昼食です。桜は少し散り始め、花卉が食べている物に落ちてきました。会場で用意してくれたアツアツの豚汁をおいしく頂きました。バスで移動し、本日の山行の荒神山の駐車場に着きました。登山口から1時間ほどで頂上まで登れる山でした。松ぼっくりや杉葉が落ちていて、なだらかな坂道で歩きやすい登山道でした。カタクリは咲き終わり、ヤマブキ、ヒトリシズカ、エイザンスミレなど、かわいい花を眺めながら、汗をふきながら登りました。見晴らし台から、赤城山、袈裟丸山、庚申山などが遠くにはっきり見えました。下山後は温泉に入り、汗を流した後は、冷えた飲み物で、大満足で終了しました。採掘がはじまった時から400年も過ぎて、まだまだ荒地の茶色の山々は、恐ろしく見えました。2011年に起きた原発事故に重なりました。近くの人々のみならず、不安や心配が尽きない中、再稼働を推進しようとしています。人間が安心して住める場所は、人間がしっかり守っていかなくてはいけないと思うからです。

コースタイム ふじみ野駅発  
6:15旧足尾銅山9:20~12:50  
荒神山13:50~15:55水沼駅温  
泉センター16:00~16:45  
ふじみ野駅着20:00



植樹しています

山頂にて



山頂にて



植樹が終わり全員で



## 飯能勤労者山岳会

## 飯能勤労者山岳会・山行短信

2014年3月～8月

- 3/16 秩父 宝登山・観梅ハイク 12名  
 4/5 岩登り講習会（天覧山）8名  
 4/5 花見の宴 飯能中央公園 17名  
 4/26～27 栗生山・荒神山と足尾春の植樹デー（宿泊：国民宿舎かじか荘） 8名  
 4/29 奥秩父 二子山西岳中央稜登攀 3名  
 5/4 南高麗・お散歩マーケットと大仁田山 11名  
 5/5～6 北ア 焼岳（宿泊：中の湯温泉旅館）3名  
 5/16～29 中国旅行 1名  
 6/1 労山クリーンハイク 奥武蔵・桂木観音から大高山 14名  
 6/29 奥秩父 瑞牆山（地図よみ講習実施） 9名  
 7/17～26 スイス アルプストレッキング（旅行社ツアー参加） 1名  
 7/26 奥多摩 小常木谷沢登り 4名  
 7/26 奥多摩 大寺山から鹿倉山縦走 3名  
 8/9～11 北ア 白馬岳を8名で計画しましたが台風11号のため中止しました。  
 8/23～25 北ア西穂高岳～ジャンダルム～奥穂高岳 天候不良のため中止  
 8/30～31 サマーキャンプ 飯能市南高麗・細田地区、大仁田山11名

このほか、個人山行多数。また、日和田山・天覧山・阿寺・神ノ戸岩等での岩トレも多数。岩ネットへの参加もあります。2013年から若い人（30代から50代）の入会が続き、会は非常に好ましい方向に発展しております。

◎これからの会山行・行事予定（2014年9月から）

（9月）奥秩父 笛吹川東沢登り、北ア 奥穂高岳、国師ヶ岳

（10月）東北 栗駒山、奥多摩 柳澤峠から鶏冠山、静岡 越前岳、

（11月）奥武蔵 武川岳



## 登山学校

## 第19期登山学校【山での救急法】に参加して

19期受講生 上谷 豊 記

【2014年8月2日（土）】（伊藤講師）会場：カルタスホール

9：30～ 1、心肺蘇生法 2、三角巾の使用法－休憩－3、テーピング12：00～  
 <昼休み>13：00～ 4、簡易ハーネス・ロープ結び

心肺蘇生法やAEDの使用法などは、勤務する会社で年一回実施する防災訓練で、聞いたり見ることはありましたが、実際に自分で行ったことはなかったので、とても参考になりました。特に人工呼吸を訓練用の人形を使って実際にやってみて、その難しさや、またコツも知ることが出来ました。三角巾の使用法を学んだことは、知ってからと知るまではと、登山等に向かう際の安心感が全く違うと感じました。いざ困った時に活用できるように、繰り返しやってみようと思います。

<テント泊体験>

場所：巾着田

14：21北浦和駅発－15：52高麗駅着－16：00頃テント場着

昔、幼い時に親に連れられてテント泊をしたことはありましたが、成人してから初めての体験でした。今後はテント泊山行や縦走もしてみたいと考えているので、良い体験になりました。

当日テント場に向かう途上は、かなりの蒸し暑さで、今晚は一体どうなるのかと、やや心配しましたが、ナイトハイク、カレー炊飯とその後の（夜遅く）懇親会まで、心地よく楽しみました。あまりの暑さから、折角テントを設営したにも拘わらず、朝起きるとブルーシートの上で寝ていましたが、、、（笑）

【2014年8月3日（日）】<実技>「救急法・セルフレスキュー」場所：日和田山

9：25～集合/説明 9：30～班ごと点呼（私たち7名は1班）ムンターヒッチ/クレムヘイストノットを使用した懸垂下降 10：10～休憩 10：20～けが人の引き上げ、搬送①11：10～休憩  
 けが人の搬送②13：00～昼食 14：00～けが人の搬送③簡易ハーネス（上体のみ）簡易ハーネス（上下）

もともと本校を知り、「登山学校に是非参加してみたい」と思ったのは、過去単独で山行（とてもレベルの低いトレイルランニング）

した際に2度道迷いになり、無事に帰っては来ましたが、やや危険な体験をしたり、川苔山を登った時に「ここで足を滑らせると間違いなく死ぬなあ」と思うところが随所であり安全に山を登るための基礎の知識や技術をしっかり一度学びたいと強く感じていたからです。第1、2回の講義も登山における基礎知識を学ぶことができ良かったのですが、今回の講義や実技は期待していた以上に内容が濃くてとても参考になりました。反復して練習して自分のものにしたいと思います。ありがとうございました。



## 登山学校

## 第19期登山学校【地図の読み方】に参加して

2014.9.6-7 19期生 長崎ちか子 記

地図読みは、肉眼的に見えないもの、山の地形のイメージが出来ること、道迷いをしない様に、遭難しないように安全に歩く危険を回避する事が出来ると、今まで漠然と見ていた地図を学べる机上学習でした。

地形図では細かく等高線が書かれており、コンパス同様に誰がこんな事を考え作ったのだろうか？疑問がおかしな方向へ向かってしまいました！翌日の実技、高水三山へと向かいました。

前夜からの雨でしたが、予報の午後から雨が上がると期待して出発！

各ポイントで地図を広げポイントには、地図上にマーク、コンパスで次の方向の確認。

コル、ピーク、やせ尾根etc. 講師の方々が山の用語を地図を見ながらポイントポイントで現在位置を照らし合わせ助言して頂いたき地図を読める様になると山の地形がちゃんと立体的に見えるのだと！痛感。

山頂付近で雨も止み雲の隙間から街や、周囲の山が見えましたが、天候が良ければ等高線通りに、沢、尾根が見えたのだとおもいました。

今回の私の山行御褒美の鯛焼きを食べながら、漠然と見ていた地図を少しは立体的に見えてきた？かもと信じ！？原本地形図を見ながら誰がこんなに！？凄い物を作ったのか…と、二匹の鯛焼きをいただきました。



**岩ネット****6月岩ネットに参加して**

新座山の会：小林純子 記

4月から参加させて頂き、今回で3回目の参加になります。

リーダーの水谷さんが、体調不良のため、今回の講習は、千葉さんがリーダーとして、指導頂きました。

開始前のご挨拶の中で、「ビレイをした事がない人は？」との問いに手を挙げたのは、私一人でした。「では、今日練習しましょう」と声をかけていただいた。千葉さんから、ビレイ器の仕組みや使い方など、清水さんかロープの引き方の手ほどきを丁寧に教えて頂く。このロープの先に命を預かると思うと否応なしに肩・手・脚に力が入る。右手で引いて左手でコントロール。右手を持ち替え1・2・3・4のリズムでロープをさばく。お二人の見守りの中で4人の方のビレイを行った。交替して、岩に登らせて貰うが、指に力が入らない。早々と諦めてしまった。場所を左の面に変え、再度ビレイに挑戦する。段々とロープを引くコツが判り、登る人の動きに合わせてロープを出したり、引いたりする事が出来るようになり貴重な経験を積むことが出来ました。

6月21日（土）岩ネット参加者：所沢3人・新座3人・三郷1人・やまなみ2人合計11人

**7月26日（土曜）岩ネット活動報告**

新座山の会 小林 和文 記

連日の猛暑が続く中、1ヶ月ぶりの岩ネットに心を踊らせての参加でしたが、高麗駅を降りてから日和田のゲレンデに向かうまでに大粒の汗をだらだら流しながらの到着となってしまいました。日和田のゲレンデは、休日の中では比較的空いている状況で、午前中にトライしたコースは初めてトライするコースでした。下から見上げる男岩のコースは掴む所も足場も多々ある様に感じますが、いざ自分で登る段階になると足の置き場にあたふた、手の掴み所にあたふたと登る事と落ちない事でいっぱいになっている自分がいます。水谷講師より岩の掴み方や重心を移動する事、なにより足で登るレクチャーを平地で受けるのですが、頭のイメージと実際の自分の動きが伴わない事に右往左往しながら必死で岩に取りつくといった感じになっていましたが、やはり夢中になって岩を登る事はとても気持ち良いです。1本登る事に大粒の汗をかいて降りたらすぐにスポーツドリンクを口にするという具合でしたが、時よりふく爽やかな風と澄みきった青空が最高でした。

午後からは、男岩西面のコースに移動し、午前とは違った岩の登り方にチャレンジしました。特にクラックに沿って登るコースは、岩の掴み方や重心や身体的位置で自分の腕にかかる力が全く違う事を意識する事が出来て非常に勉強になりました。短いコースでしたが、考える事が非常に多くとても集中力のいるコースに感じました。自分が登る時以外にも参加者が登る姿を見ながらイメージをする事で自分が登る時の参考とするのですが、なかなか上手くいかないのは午前も午後も同じでしたが、前回参加した時よりも午後に入ってから腕の疲れが少なかった事は、1つ成長できた点だと感じました。

最後に東面にて懸垂下降の練習を参加者全員で行いましたが、男岩の上で段取りに人一倍手こずってしまい、岩を登っている時以上にあたふたしてしまいました。

暑い1日でしたがクライミングの技術はもちろんの事、岩場でのルールなども勉強できてすばらしい1日になりました。ありがとうございました。

※ 参加者：山並HC×3、所ハイ・わらび・新座×1、彩山友

## 岩ネット

## 8月岩ネットに参加して 8月16日(土) 日和田ゲレンデ

所沢ハイキングクラブ 沼田 渉 記

天気は曇天。

8時すぎに高麗駅に到着し、男岩までを歩いた。8時を過ぎたばかりで気温は24、25℃程度とこの時期としては涼しい朝であったが、眼下を流れる高麗川では既に数人の子供が水遊びをしている。それでも車道を離れ登山道に入ると、前夜の雨による湿り気が体に障り、たちまちにして汗が吹き出した。

この日の参加者は講師を含めて8名。お盆休みのためか、いつも比べ少なめであった。主要メンバーは前日の深酒がたたり、動きに精彩がない。午前中は南面に張られたロープ1本を我々ビギナーの練習場と化した。自称〇日酔いでいつもより言葉少なな講師であったが、確信部に取付き、動きの鈍った者を見つけると、「右足を右上のクラックに置け」だとか、「左足で立って右手を取れ」などと指示を飛ばす。しかし、ビギナーの我々にとっては、その場でその姿勢を保つまでで精一杯で、言われた指示どおりに行動する余力はない。そうこうしているうちに腕はパンプし、何度となくロープに身を預けた。そんな私でも、再チャレンジするうちに要領を得たのか、その確信部とやらを、めでたくクリアした。下りは達成感に浸りながらのロアーダウンとなったが、地面に着地するなり、講師から「腕の力で登っちゃ駄目なんだぞ」との指摘を受けた。指摘が的確なだけに反論はできないが、この一言によって喜びは半減した。

昼食後は西面に移動した。初心者は左端のクラックを中心とした箇所、また熟練者はバルジーにそれぞれロープをかけての練習となった。ここでも私は「右のカンテを使うと簡単なんだよな」との講師からの指摘を尻目に、インチキ込みで支点到達し、自分なりの達成感を楽しんだ。そんな中、午後2時を過ぎた頃、ぽつりぽつりと雨が落ち出した。すかさず講師から撤退の指示が出た。午後の雨予報が的中したようで、林に囲まれた日和田ゲレンデでも、雨粒の多さから本降りであることを感じられた。片付けをしている最中にも、雨の勢いは増し、土砂降りとなった。傘もカッパも持たない私は、レジャーシートを体に巻き付けた講師を見習い、レジャーシートを頭からかぶり、帰宅の途を急いだ。

※ 参加者：所ハイ×4、山並・わらび・椽×1、彩山友

